



これから日本は何で食っていくのか

－日本関税協会東京支部講演資料－

2017年7月28日

シリウス・インスティテュート株式会社
代表取締役 船橋 晴雄
hf@sirius-institute.co.jp

骨子

1. 2030年の世界
2. 日本経済成功の秘訣
3. 日本の強さと弱さ
4. 「本心」教の病理現象
5. 日本人の美意識
6. 京都ルネッサンス
7. 藝術経営

アンガスマディソンGDP推計

	1820	1950	1973	2003	2030
中国	32.9	4.6	4.6	15.1	23.8
インド	16.0	4.2	3.1	5.5	10.4
他アジア	7.4	6.8	8.7	13.2	15.4
日本	3.0	3.0	7.8	6.6	3.6
小計	59.3	18.6	24.2	40.4	53.2
西ヨーロッパ	23.0	26.2	25.6	19.2	13.0
アメリカ	1.8	27.3	22.1	20.7	17.3
旧ソ連	5.4	9.6	9.4	3.8	3.4
東ヨーロッパ	3.6	3.5	3.4	1.9	1.3
ラ米	2.1	7.8	8.7	7.7	6.3
アフリカ	4.5	3.8	3.4	3.2	3.0

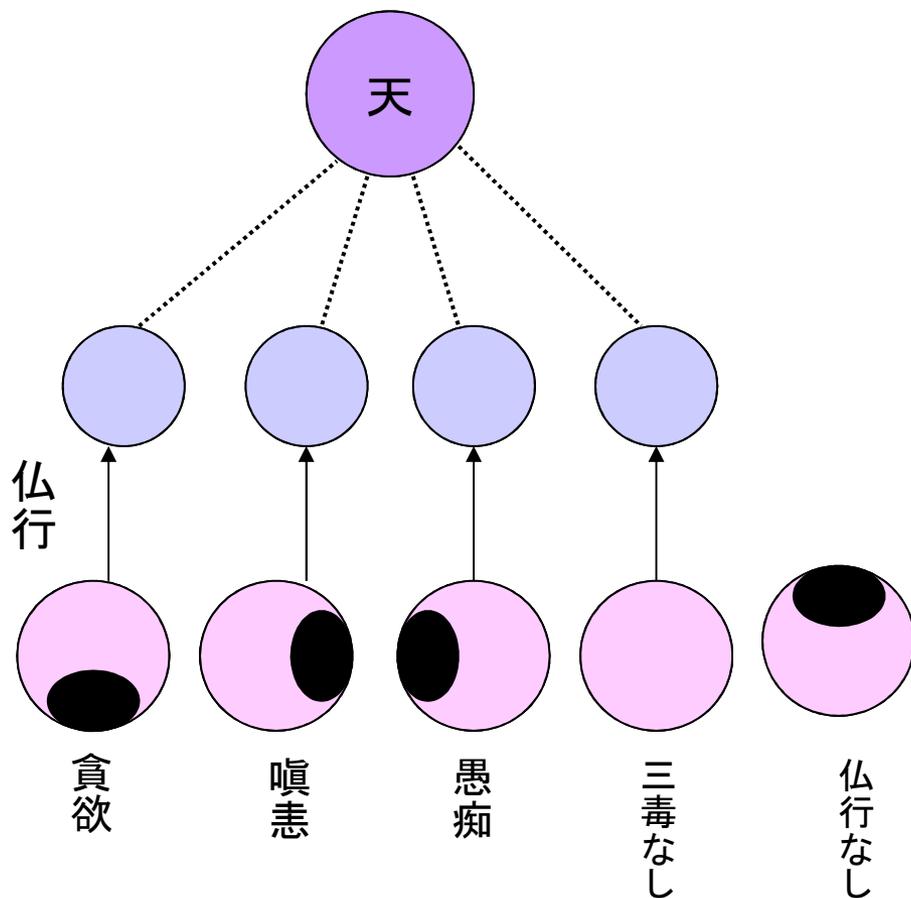
日本経済成功の秘訣

● 李元馥『漫話日本』

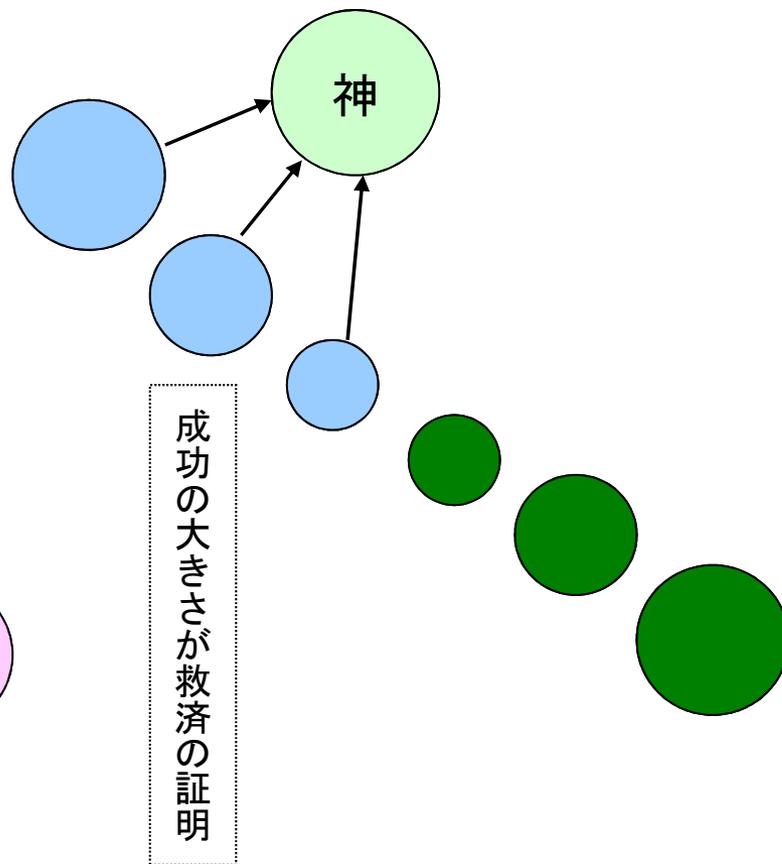
1. 追求完美
2. 勤儉・節約的国民
3. 精英官員
4. 大量規格高品質製品
5. 三人同心
6. 終身雇用・会社人間
7. 採長補短

鈴木正三とカルヴィニズム

● 鈴木正三の三毒説



● カルヴィニズムの予定説



「本心」教の病理現象

1. 心情純度至上症候群
2. お人好し症候群
3. ガラパゴス症候群
4. 枝葉末節症候群
5. 青砥藤綱症候群

日本人の美意識

1. 心邪なし
2. 道の精神
3. 名人・達人への敬慕
4. 「もののあはれ」・滅びゆくものへの愛惜
5. 小、細、浄、暖、懐などへの愛着
6. 灰色の世界……幽玄、余情、簡素、わび・さび、閑寂
7. 自然との共生

京都・ルネッサンス



藝術創生の条件

	京都・ルネッサンス	(参考)イタリア・ルネッサンス
政治	<ul style="list-style-type: none"> ■ 三都構造 ■ 地方分権 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 藝術作品としての国家
経済	<ul style="list-style-type: none"> ■ 武士の商人化、地方巧者 ■ 「山師運上」 	
社会	<ul style="list-style-type: none"> ■ 民力増進 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 身分の平等化
社交	<ul style="list-style-type: none"> ■ 文人ネットワーク ■ 職人連鎖 ■ 祭礼都市 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 社交と祝祭
時代精神	<ul style="list-style-type: none"> ■ 個性の尊重(気質不変化説) ■ 古代の復活(古文辞学⇒国学) ■ 世界の発見(博物学・蘭学の流行) ■ 信仰と利他行(臨濟・黄檗の盛行) 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 個人の発展 ■ 古代の復活 ■ 世界と人間の発見 ■ 風俗と宗教

(出典:ブルクハルト『イタリア・ルネサンスの文化』)

四術

	書名	内容	感化	応用
詩	詩経	韻文の詩歌	(詩に興こり、礼に立ち、楽に成る『論語』) ● 風雅 ● 情愛・人情 ● 恩愛	(心を奮い立たせる) ● 社訓 ● ミッション・ステートメント
書	書経	散文の記録	(尽く書を信ずるは、書なきに如かず『孟子』) ● 歴史 ● 人間 ● 風土 ● 視点	(心、人間を理解する) ● 社史 ● エピソード
礼	礼記	畏敬の礼 和平の礼	(礼を以て心を制す『書経』) ● 儀式・礼儀・作法 ● 躰・エチケット・マナー ● 人倫・冠婚葬祭	(心をコントロールする) ● 入社式 ● 朝礼 ● 退職者慰労会 ● 創業記念日 ● スポーツ大会
楽	楽記	音楽の演奏	(琴瑟相和す) ● 心地良さ ● 善美・完美 ● 和・ハーモニー	(心を癒す) ● 社歌 ● コンサート ● CMテーマソング

特に「礼楽」に注目して下さい。儀式や音楽は言葉の世界ではありません。「礼楽は物言わざれども、能く人の徳性を養い、心思をかふ」といっています。物を言わないからかえって自分で考えさせる。「学ぶ者は深くさとる。何となれば吾言わざるの前、思いすでに半ばにすぐるが故なり。」自分で考えさせるから、深く悟ることができるのだということです。

藝術経営

1. 藝術価値化

- 提供するモノに芸術の要素を埋め込み付加価値を高め、新しい顧客を創造する
- 世界の解釈、意味づけに活用する(物事の本質に肉迫し、変化への対応力を強化する)

2. 藝術組織化

- 組織内に藝術インキュベーションを組み込む(ネットワーク)
- 組織のあり方や仕事の仕方を藝術指向に見直し創造性やイノベーションを活性化させる

3. 藝術共同体化

- 藝術(特に音楽)を駆使して組織の求心力を高める
- 組織内にこれらの企画、評価を行う中心組織(CAO, Chief Art Officer)を置く

4. 藝術支援化

- 対外的な藝術支援活動、企業ミュージアムなど
- 社員教育支援(リベラルアーツ+α)

5. 藝術倫理化

- 上記実践を通じて高潔さを持った組織となっていく